



中テレSDGsアクションレポート

ふくしまを盛り上げるテレビ 2022年4月～2023年3月



福島中央テレビ



福島中央テレビは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

中テレSDGs特設ページはこちら

株式会社 福島中央テレビ 福島県郡山市池ノ台13-23 024-923-3300(代表)

2023

「動く、動かす」

SDGsの取り組みをさらに前へ!



「第1回 ふくしまSDGsアワード」受賞! テレビ番組やイベントを通じて“ごみ拾い活動”を県民運動に!

2023年3月5日ふくしまSDGs推進プラットフォーム(事務局:福島県)



「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」が 日本民間連盟賞の放送と公共性で優秀賞を受賞

2022年11月8日「第70回民間放送全国大会」で表彰



子育てサポート企業として「くるみん認定」 育パパサポート奨励金導入など男性育休取得を促進

2023年1月30日福島労働局から認定通知書交付



「ベビーファースト宣言」に賛同

福島での「子育て」を考える機会をつくり、子育てに寛容な社会づくり、子供の笑顔があふれる街づくりを目指します。

- 1.赤ちゃんとその家族の笑顔伝えます
- 2.子育てに役立つ情報を発信します
- 3.赤ちゃんとその家族が過ごしやすいイベントを開催します



ふくしまの課題解決＝ ふくしまを盛り上げる

環境

- 番組 プンケン歩いてゴミ拾いの旅
- イベント 海と日本プロジェクト
ふくしま海ごみ削減プロジェクト
中テレ祭りで「影アート」企画
- その他 オールふくしまごみ減量推進事業受託
本社敷地の緑地化「Chu!テラス」
海ごみと海洋生物について学ぶ研修会

経済

- 番組 ふくしま未来ストーリー
Good For the Planet ウィーク
- その他 社会福祉施設と連携プロジェクト
本社電力の100%再エネ化

社会

- イベント 減塩の日特別トークショー
ふくしま親子収穫体験会
「国際女性デー」シンポジウム
- 番組・WEB記事 働く女性応援キャンペーン「My Life」
- その他 県防災士会と連携協定締結
オンライン会社見学
ジェンダーについて学ぶ研修会
県や企業と連携した「ふくしま健民アプリ」利用促進

私たちだけの力では 前には進めません

2022年度は国や県、民間放送連盟などから福島中央テレビの取り組み内容が評価され、様々な表彰や認定をいただきました。その中で重要なキーワードになったのが「県民との連携」です。ゴジてれChu!の企画「ブンケン歩いてゴミ拾い」は県民と一緒にごみ拾い活動を行い、放送を見た人や番組に出演した人たちがごみ拾い活動を自主的に行う運動に広まったことが評価されました。大切なのは自らがまず「動く」ことです。そして、そのことで人の心を動かし行動に変えていくこと。福島県の内堀雅雄知事はふくしまSDGs推進プラットフォームの会合の中でSDGsを進める上で大切なことを次のように言いました。

「1人の100歩より100人の1歩」

私たちは自らが動きながら、今後も多くの人たちとともに前に進んで行くことを目指していきます。



番組を通じた啓発
のべ視聴者数

約**682**万人*

対象期間：2022年4月～23年3月

啓発CM
15秒

1139本

各地域団体への
チャリティ額

約**10**万円

SDGs推進のための啓発CMを放送中!

22年度には啓発CMを新たに5本制作し、これまでに19種類の15秒啓発CMを放送。省エネや生ごみ削減などの身近なテーマでSDGsへの意識向上を図っています。



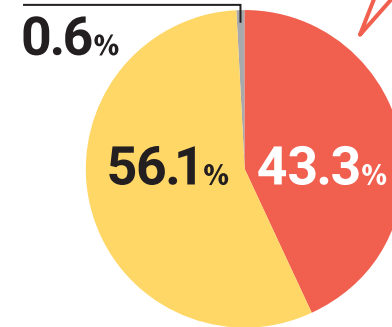
※対象番組：ブンケン歩いてゴミ拾いの旅(49回)、ふくしま未来ストーリー(番組24回、コーナー13回。ゴジてれChu!コーナーも含む)、海と日本プロジェクト ミニ番組(30回)、My Life～はたらくて、かがやく～(2回)を対象に、福島県の人口と個人視聴率を用いて福島中央テレビが推計した人数です。

認知度は98.4%に!**78.7%**がテレビがきっかけで認知
3年間で認知度上昇!実行度も大幅アップ



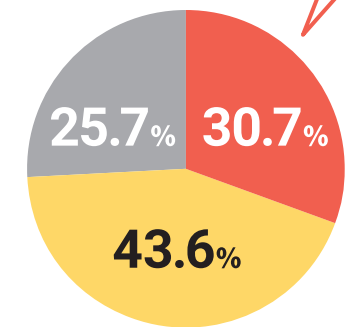
認知度 | 88% → **98.4%**
関心度 | 46% → **74.3%**
実行度 | 25% → **50.1%**

SDGsを知ってる?



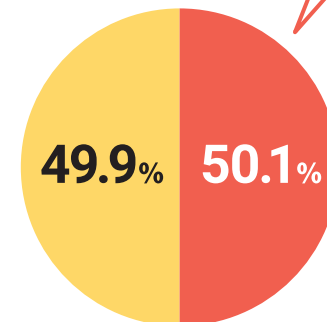
■よく知っている ■聞いたことがある ■聞いたことはない

SDGsに関心はある?



■既に取り組んでいる ■関心がある ■関心はない

実際に取り組んでることはありますか?



■ある ■ない

県民の声を取り組みに生かす

2020年度の調査と比較し実行度が2倍に増えました。県民からは「賞味期限が近い食品を積極的に購入してフードロスに取り組んでいます」といった声がある一方、「福島県にはLGBTQのパートナーシップ制度を導入している自治体がないので導入して欲しい」などの意見もあり、県民だけではなく自治体や企業なども含めて実行度をさらに高めていく必要があります。また、何をきっかけでSDGsを知ったかという質問で最も多かったのが「テレビ」でした。これは3年前の調査同様約8割に上ります。県民の声からは「福島県がごみ排出量ワースト2位ということを知りました。一人一人が意識して実践できるようにさらに啓発して欲しい」という意見もあり、テレビ放送を通じた啓発の必要性を改めて感じる結果となりました。

毎年アンケート調査を実施 中テレアプリで県民アンケート
実施期間：2023年2月14日～28日 回答数：503人(10代～80代男女)

環境課題 に対する取り組み

福島県は生活系のごみ排出量で都道府県ワースト2位(2020年度)という状況を改善するため、番組やイベントを通して県民の「ごみ」に関する問題意識向上を図り、「捨てない・拾う」から「ごみ減量」まで様々な角度から啓発活動を行っています。

ごみ拾いを県民運動に!



県内を歩いてごみ拾い

3年間で約 **12.75** トンを回収 歩いた距離 **2,030** キロ

(2020年1月1日～2023年3月28日)

11 住み続けられるまちづくりを

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

ブンケン

歩いてゴミ拾いの旅

鈴木 文健 福島県郡山市出身のタレント
高校時代には全国高校サッカー選手権大会に出場した。バスケカドレナーとしても活動中

Chu! 毎週 月曜日
午後 3:50～4:50
Hulu、中テレYouTubeチャンネルでも配信

夕方情報ワイド番組「ゴジてれChu!」の人気コーナー。ブンケンさんが県民と触れ合いながら59市町村の様々な場所でごみ拾い活動を展開しています。少しでもごみを減らし、捨てる人がいなくなるよう持続可能な環境美化を目指しています。



活動は4年目に!

2020年の元旦からスタートしたごみ拾いは4年目に入りました。落ちているごみは拾えばふくしまがきれいになる“希望のカケラ”。地域の方と交流しながら歩いてごみ拾いをしています。

YouTube 累計再生回数 **16万1531**回

(2022年4月5日放送～2023年3月27日放送まで)

コーナーのべ視聴者数 **329万9456**人

日本民間放送連盟賞 「放送と公共性」部門で **優秀賞を受賞**

民間放送連盟に所属する全国の放送局を対象に優れた番組や作品を評価する「日本民間放送連盟賞」において、ブンケン歩いてごみ拾いの旅が優秀賞を受賞し、全国の放送局から注目を集めました。

様々な企業や団体・学校の皆さんと一緒にごみ拾い! ごみ拾いの輪が広がっています

地域の方が一緒にごみを拾ってくれたり、「私もごみ拾いを始めました」というお便りをいただいたりと、ごみ拾いの輪が広がっています。学校や地域のイベントなどで子どもたちとごみ拾いを行う“番外編”の放送も。地域のみなさんと連携しながらごみ問題への意識向上に取り組んでいます。



日本 海と日本 PROJECT 海の未来を変える挑戦

▶ 海ごみ削減プロジェクト ◀

県内一斉清掃活動 団体のべ61団体 合計 **1,176**人が参加

漫画家・高橋ヒロシ先生(会津坂下町出身)協力 クローズ×WORST「ポイ捨て禁止啓発パネル設置」



合計8回の清掃活動実施で、1,631人参加 産官学民のべ80団体と連携!

6月	県内一斉清掃 いわきFC「海ごみゼロDAY」
7月	ジャイアンツ杯中学野球大会
9月	県内一斉清掃 海ごみ削減チャリティコンペ
10月	スポGOMI甲子園 森永乳業福島工場と清掃活動
1月	ふくしま海ごみネットワークシンポジウム いわきサンシャインマラソン2023 開催記念イベント「クリーンアップRUN」
2月	いわきサンシャインマラソン2023 「海ごみゼロ給水所」設置+小浜浜海星高校と清掃活動



イベント 2023年3月

3月に開催された中テレ祭りでは、拾った海のごみを活用した“影アート”を展示しました。ブンケンさんが県民と一緒にいわき市の薄磯海岸の清掃をした際に回収したごみで、影アート作家の佐藤江未さんがオブジェを作って光をあて、その影絵を楽しむ作品で、ごみ問題への関心を喚起しました。



経済課題 に対する取り組み

SDGsに取り組んでいる企業や団体、個人など「プレーヤー」の皆さんを通年の番組や日テレ系のキャンペーンウィークで紹介。県民への認知や活躍の場を広げるきっかけづくりを目指します。



SDGsに取り組む企業や団体の思いに迫る「ふくしま未来ストーリー」は、これまでに35の企業・団体を紹介

平均個人視聴率 **1.7%** (土曜放送) **7.0%** (ゴジてれ放送) 推計視聴者数 **229万人**

対象期間: 2022年4月~23年3月 ※ゴジてれChul内放送も含む

ふくしま未来ストーリー放送フレーム	
1 ゴジてれChul報道枠で放送	計3回の放送 + webアーカイブ
2 第一日曜日に放送「未来ストーリー」	
3 Webでアーカイブ/第四日曜日に再放送	

番組提供: 東洋システム

毎月第一土曜日 23年度は毎月第一日曜日に放送 0:45~1:00 再放送/毎月第四日曜日

2022年4月から「SDGsトピックス」コーナーを設け、身近なSDGsの話題の提供も始めました。

2022年4月	佐藤燃料	郡山市	老舗石油販売会社が脱炭素に挑戦! 福島から「水素社会」の実現を目指して
	SDGsトピックス	会津若松市	スマートごみ箱(あゆむCafe)
	SDGsトピックス	福島市	ジェラートでフードロス削減(福島学院大学ほか)
5月	福島駅前自主夜間中学	福島市	全ての人に学ぶ喜びを...「公平に学べる」教育の実現へ
	SDGsトピックス	県内	県内の働く女性を支援する取り組み(ケイリーパートナーズ)
	SDGsトピックス	いわき市	学生服を有効活用(NPO法人ザ・ビーブル)
6月	特別編		内堀福島県知事×村尾信尚 福島の未来を描くSDGs
7月	野田鉄工	福島市	県内外で人気の「ジェラート」を鉄工所が開発! もったいない精神で食品ロスを減らす!
	SDGsトピックス	いわき市	間伐材を使ったストロー(磐城高箸)
	アサカ理研	郡山市	廃棄された電子部品から「金」を回収! そして貴金属の再生事業は次なる挑戦へ
8月	SDGsトピックス	猪苗代町	外来種の繁殖を食い止める(アクアマリンいわしろうカワセミ水族館)
	ふくしま医療機器開発支援センター	郡山市	病院じゃないのに手術室! ? 国内初の施設が医療の未来をつくる!
9月	SDGsトピックス	昭和村	戦争の記憶を次の世代へ
	味の素	東京都	育ち盛りの子供たちの「味覚」も育てる! 「おいしい減塩」の学校給食で健康づくり
10月	SDGsトピックス	喜多方市	高齢者の熱い「eスポーツ」
	フロンティアラボ	郡山市	世界シェアNo.1! 独自の分析技術で海洋プラスチックごみの問題解決に挑む
11月	SDGsトピックス	県内	エシカル消費とは(ツルハドラッグ、大正製薬)
12月	はじまりの美術館	猪苗代町	バイアスを超えて... 障がいの有無にかかわらず自由な表現でつながる
	SDGsトピックス	福島市	回転ずしで水産資源を考える(くら寿司)
2023年1月	NPO法人ザ・ビーブル	いわき市	昨日まで着ていたその服、燃やすの? 古着のリユース・リサイクルで持続可能な社会を
	SDGsトピックス	南相馬市	福島をロボットの発信地へ(ロボコム・アンド・エフエイコム)
2月	トレ食	南相馬市	地球環境にやさしいプラスチックや紙の原料を作り出すベンチャー企業
	SDGsトピックス	石川町	ミニバスで買い物支援(石川町、福島交通など)
3月	あだたらの里直売所	大玉村	人に、社会に、環境に優しい買い物を呼びかける 生産者と消費者つなぐ直売所
	SDGsトピックス	いわき市	生理の貧困をなくす... カフェの試み(サンビノチオ)

「ふくしま未来ストーリー」は、様々な企業や団体と連携したSDGs推進を目指します。



ふくしまから地球に良いこと考える1週間

日テレ系のキャンペーンに合わせて、自社制作番組の料理コーナーでは「残り物大変身レシピ」というテーマで食材の活用アイデアを紹介、フードロスへの意識向上をはかりました。



社会課題 に対する取り組み

健康や防災、女性の活躍推進についてイベントなどを通してひとりひとりが考えるきっかけづくりを行っています。

イベント 2022年9月17日(土)

減塩の日特別トークショー

ブンケンさんと学ぼう! おいしく減塩ははじめよう!



イベント 2022年11月19日(土)

ふくしま親子収穫体験会

福島市の農園「かんだファーム」で旬の野菜を収穫し羊煮を楽しむ体験会が開かれ、親子11組が参加しました。野菜本来のおいしさを知り減塩に配慮した味付けを学び健康増進を目指して開催しました。



地域連携で進める女性活躍推進キャンペーン

協賛: 大塚製薬ニユートラシューティカルズ事業部 後援: 福島県

番組やイベント、WEBメディアを通して、頑張る女性や健康課題解決につながる情報を発信

番組 県内で活躍するロールモデルを紹介 ※不定期コーナー

シンポジウム 3月の「女性の健康週間」 「国際女性デー」に合わせてシンポジウムイベントを開催



WEBメディア 地元企業と連携した「ワーママ目線」の記事コンテンツ WEBニュース発信で、合計24.1万PV

- 「子どもが産まれたら夢をあきらめないといけないの?」いま問われる夫婦の姿~診療所を営む夫婦への取材から見えたこと~
- 経営は男性がするもの? 大ヒット商品を生み出した「跡取り娘」の葛藤と大逆転~「女性だから」は自分を縛る鎖じゃない!~
- 文房具はただの道具じゃない! 「文具女子」たちの心をくすぐる注目の文具店と女性経営者の挑戦
- これがフレイル? 「親の老い」に突然直面... 嫁として向き合い悩みながら見つけた答えとは
- まるで魔法のような存在! 日本の食文化を支える「麴」の魅力を再発見~コロナ禍でさらなる挑戦も~
- 男性の育児取得で業務効率が向上? 仕事一筋の夫の変化からわかったこと! ふくしま女性活躍推進シンポジウム
- コロナ禍でスタートした先進的な教育に親たちはどう向き合うべきか? 塾講師として見えた現状と課題
- 女性人口の流出で全国1位は福島県! 進学や就職で故郷を離れた女性の思いと夢の実現
- 【座談会】 「人間関係に疲れる」ではなく「大切な居場所」になる! 子育てや生活の悩みを共有する女性のためのコミュニティとは

協力: ケイリーパートナーズ

社内での取り組み

2021年10月、SDGsへの認識を高め、さらなる行動の活性化を支援する国連の「SDGメディアコンパクト」に加盟しました。社内でも様々な取り組みをすすめています。

2021年11月～

社会福祉施設との連携プロジェクト

21年からスタートした循環型農福協働プロジェクト。社会福祉法人「にんじん舎の会」と連携して社員食堂で発生する残さを飼料化しています。

22年4月～23年3月までに回収されて再資源化された量は1.29トン。資源循環で気候変動対策に寄与するとともに、知的障がい者のみなさんの活動機会創出を実現しています。



2017年6月～

災害備蓄品を コプフードバンクに寄贈

社内の災害備蓄品が期限切れになる前に寄贈し、県内の社会福祉協議会を通じ貧困家庭などへの食料提供に貢献しています。

2021年4月～

社員食堂での SDGsメニュー

月に2回、地産地消や環境配慮食材を使用したメニューで社員への理解浸透を目指しています。



2021年～

ペットボトルの 資源化

社内を出たペットボトルは分別回収し、再生プラスチックの原料として再資源化しています。今年度の回収量は900キロで、22年度末からはペットボトルキャップを油化し、再資源化する取り組みもスタートしました。

2022年11月

学校向けオンライン社内見学スタート

事前収録のVTRを視聴するものではなく、学校と中テレをZoomアプリでつないでアナウンサーが報道フロアやスタジオを案内したり、児童・生徒の質問に答えたりする相互のやり取りができます。

東日本大震災・原子力発電所事故の災害報道についての説明に加え、福島県外の学校には福島県の紹介もしており、中テレだけでなく、福島を知ってもらう機会を提供しています。



※22年度末までに7校完了

2022年7月

福島県防災士会との連携協定締結

福島県内の防災士で作る「福島県防災士会」と防災意識を高め災害を減らす活動に連携して取り組む協定を結びました。

「福島県防災士会」は、災害時に率先して地域住民の安全を守る活動にあたるほか、日頃から防災活動に取り組んでいて、中テレは防災士が得た災害情報を迅速に伝えるほか、防災士の持つ知見をもとに災害から身を守る方法などを番組で紹介しています。

また、2023年2月には「防災士養成講座」を社員・スタッフが受講、3月までに3人が資格を取得しました。



2022年～

本社内の電力を100%再エネへ移行

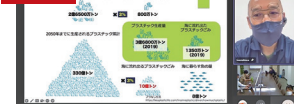
5月に、放送事業におけるCO2排出量削減に取り組むため本社の電力を再生可能エネルギー電源を活用した再エネ電気(CO2フリー)に100%切り替えました。これにより年間約950トンのCO2排出を削減します。

照明のLED化に伴い 前年比12万8803kWh削減

22年3月、社内の照明をLEDに切り替えた結果、4月～2月にかけての電力使用量は前年同期比12万8803kWh削減、削減率は約6.8%となりました。これは一般家庭(4人家族)が1年間に使用する電力量(約4800kWh)の約26軒分に相当します。

社内研修会 不定期

7月



海ごみの現状やプラスチックごみと海洋生物について学

ぶ社内研修会を実施、アクアマリンふくしまの岩田雅光さんにお話を伺い、研修会の内容はWEB記事化し紹介しています。

10月



性的マイノリティに対する偏見や差別をなくし正確な知識をテレビで伝えるために、福島大学の前川哉准教授を講師にジェンダーの考え方について勉強会を実施。

2023年1月

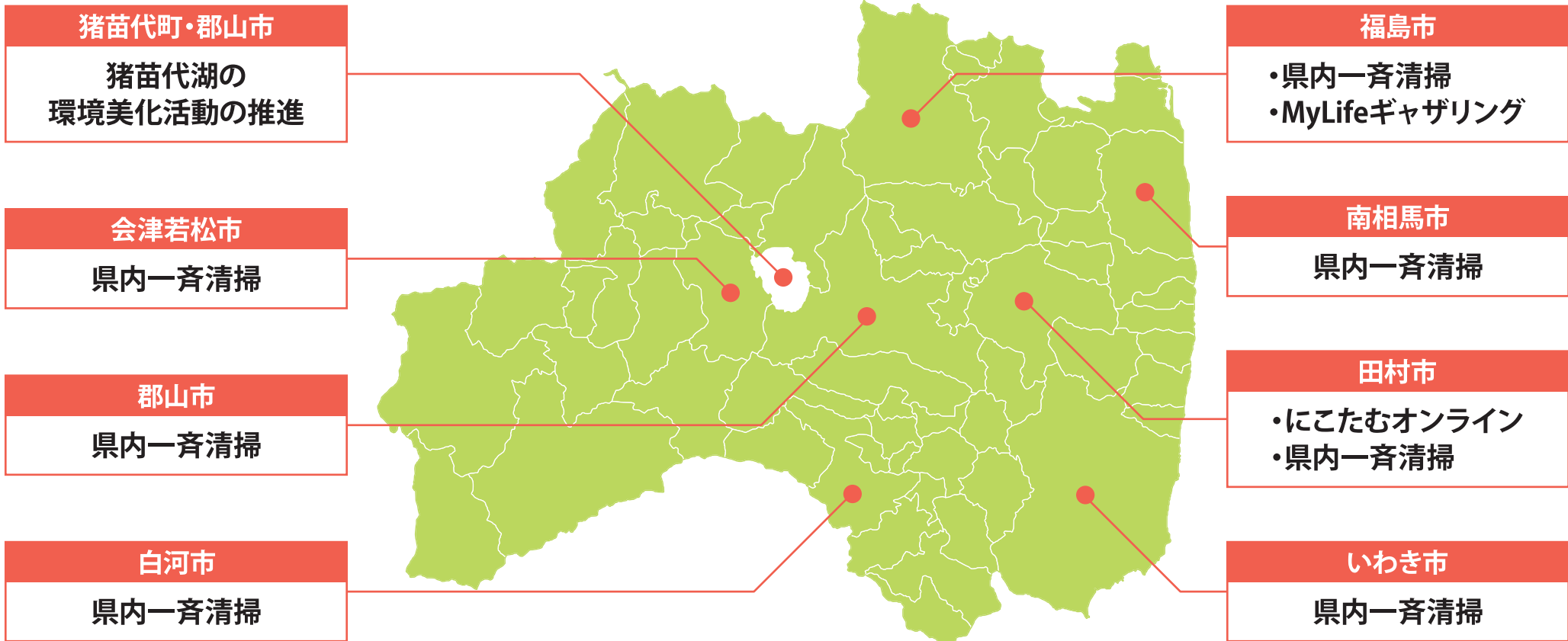


敷地の一部を緑地化 「Chu!テラス」お披露目

本社の敷地の一部を緑地化し「Chu!テラス」という名称で、番組の天気コーナーなどで活用しています。まちの景観美化などにつなげるほか、スタッフの働きやすい環境づくりに取り組みます。

地域と連携した取り組み

22年度に連携した各自治体との取り組みマップ



福島県

- ・オールふくしまごみ減量推進事業
- ・親子収穫体験会

ふくしま健民アプリ × 中テレ祭り

福島県や企業と連携し、中テレ祭り会場で「ふくしま健民アプリ」のダウンロードを推進
 企業の健康づくりに関する情報をクイズ形式で発信し、のべ5,000人以上の方が会場や自宅から参加しました。



23年度も地域のみなさまと連携して社会課題解決に取り組んでまいります。